

I. ビジネス創造センターの概要

1. 活動概要

小樽商科大学ビジネス創造センター（CBC）は、小樽商科大学の産学官連携拠点として、平成11（1999）年度に設置されました。平成12（2000）年度には社会科学系国立大学初の「共同研究センター」となり、小樽商科大学の知的蓄積を社会的課題への具体的で実践的な解決策、処方箋として提供することを通して、ビジネス系イノベーションの創出に貢献してきました。

一方、平成22（2010）年度は平成16（2004）年10月から専任教員としてセンターに勤務し、平成18（2006）年度からセンター長を務めてきた海老名誠教授（平成21（2009）年度から特任教授）の在職最終年度となりました。これを受けて平成22（2010）年4月に専任教員として澤田芳郎教授を迎えたことから、引き継ぎ作業を行ないました。また、大津晶副センター長（社会情報学科准教授）をはじめとする各部主任、スタッフとともに、下記の諸活動を実施しました。

● 産業振興プロジェクトへの参加

文部科学省イノベーションシステム整備事業（地域イノベーションクラスタープログラム）の「函館マリンバイオクラスター」に協力し、海老名センター長および中村秀雄教授（研究部主任、アントレプレナーシップ専攻）が海外マーケティングならびに契約手続きに関する調査研究にあたりました。また澤田教授が「事業化・マーケティング戦略会議」に参加して、研究成果の事業化を支援しました。

● 各種委員会への出席

海老名センター長が北海道科学技術審議会や小樽市観光大学校運営委員会の委員など、多数の公職に就いて、小樽商科大学の社会貢献に寄与しました。澤田教授が「北しりべし定住自立圏共生ビジョン懇談会」に招かれ、会長として提言のとりまとめにあたりました。

● ビジネス相談への対応

4件のビジネス相談を受け、コンサルティングにあたるほか、関係先への紹介などを行ないました。また、近藤公彦教授（研究部スタッフ、アントレプレナーシップ専攻）が指導する学部学生による「株式会社 i - v a c s」の起業（平成23（2011）年4月）およびメディア発表を支援しました。北海道経済産業局からの講師紹介依頼に対して、人選と折衝を行ないました。

● イベント企画・運営、出展

ビジネス創造センター主催のイベントとして、「CBCセミナー」（小樽市）および「産学官連携研究成果報告会」（札幌市）を開催しました。近藤公彦教授と深田秀実准教授（総務部主任、社会情報学科）が研究成果を紹介して、関係業界の方々とパネルディスカッションを持ちました（司会は副センター長とセンター長がそれぞれ担当）。また、「北洋銀行ものづくりテクノフェア2010」の小樽商大ブースで加賀田和弘准教授（研究部スタッフ、商学科）の研究成果をご紹介しました。

- 広報活動

『平成21年度ビジネス創造センター研究活動報告書』を発行し、『CBCニューズレター』（第11巻1号～3号）を制作して、学内外に配布しました。平成21（2009）年度に大津副センター長と木村泰知准教授（情報資料部主任，社会情報学科）が構築したCBCの新しいWEBページを平成22（2010）年4月に公開しました。また，海老名センター長，大津副センター長を中心に講演やテレビ出演を行ない，新聞取材にも多数応じました。小樽商工会議所会報の6回にわたる「小樽商大ビジネス・ワンポイント」コーナーもCBC関係者で執筆しました。

- 学生論文賞の運営

ビジネス創造センターは教育開発センターと共同で「第5回学生論文賞」を実施しました。これは学部生，大学院生を対象に研究論文を募集するもので，学内の多くの教員の協力を得て審査し，入賞者に賞状と研究奨励金（北洋銀行殿のご好意による）が授与されました。実行委員長は研究部主任の中村教授が務め，センター長，副センター長，専任教員（教授，助手）が協力しました。

- 北海道経済資料の蓄積，整理と登録研究会の運営

経済研究所（ビジネス創造センターの前身）時代から継続している北海道経済資料の蓄積，整理と登録研究会の運営も順調に行ないました。これらには今野茂代助手が従事しました。

- センター長等会議，専任教員会議等

平成22（2010）年10月の「第22回国立大学法人共同研究センター長等会議」（山口大学）に海老名センター長と澤田教授，蔵重治企画・評価室長代理（兼研究協力係長）が，同8月の「第23回国立大学法人共同研究センター専任教員会議」（佐賀大学）に澤田教授と木村情報資料部主任が参加して，共同研究センターをめぐる全体状況の把握にあたりとともに議論に参加しました。平成17（2005）年から福島大学地域創造支援センター，滋賀大学産業共同研究センターおよび地域連携センターと実施してきた「三大学・地域共同研究センター定期情報交換会」は滋賀大学で第6回を実施しましたが（本学から海老名センター，大津副センター長，澤田教授，蔵重室長代理が参加）は，相互に活動を学びあうという当初の目的を達成したことから，今回をもって円満終了することになりました。

- センター運営ほか

センターではおおむね月1回「主任会議」を開催し，各部スタッフをまじえたランチミーティングも行なっており，迅速な意思決定にあたりとともに，関係者の意思疎通を図りました。また，翌年度以降の活動に向けて澤田教授が小樽商大の全教員訪問を試み，94名の教員と面談して専門性などを把握しました。

平成23（2011）年度の体制づくりも重要な活動でした。その結果，李濟民教授（アントレプレナーシップ専攻）がセンター長，澤田芳郎教授（センター専任教員）が副センター長に選ばれ，総務部，研究部，情報資料部の主任，スタッフもそれぞれ選任されました。ビジネス創造センターはこの体制で，ひき続き小樽商科大学の産学官連携拠点としての活動を進める所存です。